



SANO NIHON UNIVERSITY
SECONDARY SCHOOL



Member of
the Associated Schools
Network



[広報]

わかざくら

W A K A Z A K U R A



60周年記念ロゴマーク

vol.68

2025.3.1



予餞会



ガールズグラマースクール校長 記念講演会



モルドバ共和国大使 記念講演会



ブリティッシュヒルズ



卒業おめでとう



運動会



国内研修旅行 (奈良・京都)



出陣式



海外研修旅行 (5年・イギリス)

目次

卒業式式辞	P 2
卒業生各賞受賞者	P 3
研修旅行	P 4
創立60周年記念式典・中等運動会・予餞会・立志式	P 5
輝く仲間たち	P 6

ホームページ・Instagramはこちら



佐野日本大学中等教育学校

栃木県佐野市石塚町2555 ☎ 0283-25-0111(代)

<http://ss.sanonihon-u-h.ed.jp/>

卒業式にあたって



巢立つ サニチニアンへ

校長 船渡川 重 幸

厳しい寒さも和らぎ、校庭の木々の芽もほころび始め、吹く風も柔らかく、確かな春の訪れを感じられようになりました。本日、第12回卒業証書授与式を挙げていきますことは、大きな喜びです。57名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員を代表して心からお慶び申し上げます。六年前の入学式では、まだまだ小学生のあとけなさが残り、期待と不安の中で緊張していた姿が昨日のことのように思い出されます。今日、皆さんを目の前にすると、六年間の中で逞しく成長し立派な青年になったなど実感しているところです。

特に皆さんは、入学して二年生になる直前から新型コロナウイルス感染症のため、一斉休校になったり、リモートで授業を受けたり、そして運動会や文化祭、宿泊研修旅行が中止や延期を強いられりと、「当たり前」のことができなくなった三年間でした。これから本校で充実した学校生活を送ろうとしていた皆さんにとって辛く苦しく残念なことの連続だったのではないかと思います。また、一方で、学校が再開された時の喜びや、仲間たちとの再会などを経て、「当たり前」なことがどれだけ貴重なことであるかを実感し、家族の大切さ、我慢すること、他人を思いやること、協力することなど様々なことを学んだと思います。後期課程に入り、何とかコロナ前の学校生活に戻ってはきましたが、いろいろなことがあった六年間を過ごして卒業を迎えた皆さんの、これまでの頑張りに対して心から褒め称え、また感謝したいと思います。

さて、卒業生の皆さん。今日は皆さんにとって、本校を卒業する日であると同時に、新たなステージ（はなむけ）に向かって旅立つ日でもあります。その門出にあたって、二つ饞の言葉を贈ります

一つ目は、生涯学び続け、私たちの住む地域社会のため、日本のため、世界のため、人類のため、地球のため、つまり～のため、英語の「for」にあたる心をもって行動できる人になってほしいということです。皆さんの十年後、五十年後がどのような世の中になっているかは予測が困難です。グローバル化やインターネット社会の進展と相まって、変化が激しく、また、AI（人工知能）やロボットの進化は、世界を大きく変容させています。特にAIにおいては人間らしい感情を持たせる研究も進んでいます。これは場合によっては人間と人工知能が対立し、人類の存続にかかわって来るとも言われています。SF映画の世界が現実になりつつあるのです。さらに、地球温暖化による自然破壊の問題も、既にいろいろところで私たちが実感するようになっており、人類の生存を脅かす極めて大きな問題です。また、ウクライナやガザでの戦争はなかなか終わらせることができず平和がいつ訪れるのか見通しはまだ立ちません。私たちは今、本当に様々な課題に直面しています。そのいずれもが正解のない、あるいは正解が一つとは限らない、複雑で困難なものばかりです。しかし世界中の誰

もがこのままではいけないと思っているはずで、このような時代だからこそ皆さんは知的好奇心をもって自分を取り巻く世界について、もっともっと学び知る努力をする必要があります。そうすることで人類や地球を、いい方向に変えていこう、改めていこうと知的好奇心がさらに広がっていき、自分の幸福とも大いに関わってきます。皆さんが、この世界で逞しくしなやかに、そして幸せに生きていくために、生涯を通して学び続け、「for」の心、精神をもって歩んでください。

二つ目は、これから皆さんに起こる「出会い」を大切にしてほしいということです。自分を支えてくれたり生きる勇気を与えてくれたりする、「心の師」、「心の友」と呼べる人を持つことです。さらに一冊の書物と本気で付き合うこと、心を震わせるような音楽と向き合うこと、美しい風景を目の当たりにすることなど、これらもすべて「出会い」から生まれます。これは「出会い」のもの凄さであり素晴らしさでもあります。人は「出会い」を通して自分なりの人生を紡ぎ成長させていきます。また偶然の「出会い」は、新しい自分を発見させてくれる、言ってみれば人生を輝かす魔法のようなものです。もちろん「出会い」には、+をもたらす場合と-の衝撃もあるでしょう。しかし-の「出会い」も見方次第で+の「出会い」に変えていくことができるのです。「出会い」には、他人が何と言おうと何が起きようと、人であれものであれ自分がその相手と出会った時の一瞬に、考えること、感じることのすべてをはねのけるようなずっしりとした重みと私たちの生き方を根底から変えてしまう力があり、生きる張り合いとか自信をもった生き方がそこから生まれてくるのです。しかし、しっかりとアンテナを張っていないと、せっかくの「出会い」に気づかず、すれ違いも起こってしまいます。「出会い」を大切に人は人生を豊かに充実させることのできる人なのです。どうか素晴らしい「出会い」をしてください。以上私からの饞の言葉です。

改めまして、保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠にありがとうございます。保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの時期も含めて六年間、いろいろな心配や悩み、不安がおありだったとご推察いたしますが、今日のお子様の成長した姿に感慨ひとしおと同時に一抹の寂しさもおありではないでしょうか。これまでの六年間と長きにわたり、本校の教育活動への格別のご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも本校に対する変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、卒業生の皆さん。皆さんはいいよこの佐野日本大学中等教育学校を巣立っていきます。六年前にいろいろなところから57名が集まり出会い、そして今それぞれの道に分かれて自ら選択した道に進んでいきますが、皆さんは同じ佐野日大の一員であるサニチニアンです。佐野日大中等教育学校は、生涯、皆さんの「心の故郷」です。どんな時でも母校は皆さんを待っています。いつでも連絡してください。訪ねてきてください。

皆さんがこれからサニチニアンとして大いに活躍することを心より祈念し、私からの式辞といたします。卒業生諸君、本日はご卒業本当におめでとう。

令和6年度 卒業生 各賞受賞者

総代・日本大学学長賞(学業部門)



亀田 紫乃
(佐野・田沼小)



廣瀬 乃々佳
(足利・毛野南小)



張 希航
(太田・沢野小)

佐野日本大学中等教育学校校長賞



大野 陸
(館林・第六小)



石川 莉子
(佐野・天明小)



坂口 真央
(大泉・南小)

日本私立中学高等学校連合会会長賞

三か年皆勤賞

須藤 達紀*(佐野・界小)
大野 陸*
高橋 李羽*(佐野・犬伏小)
石原 妃菜*(太田・旭小)
横塚 悠姫*(小山・寒川小)
石川 莉子*

*は六か年皆勤

三か年精勤賞

澤井 音羽(栃木・大平西小)
浅見菜々美(幸手・さくら小)
稲葉 紗衣(佐野・天明小)
浦野 聖友(足利・山辺小)
田名網咲来(古河・古河第四小)
田村 曜帆(加須・北川辺東小)
茂木 花穂(太田・休泊小)
矢内 希和(久喜・桜田小)
藤倉 栞(佐野・吉水小)
大西 達也(足利・南小)
梁 貫地(足利・桜小)

栃木県高等学校文化連盟賞

奥澤穂乃香(羽生・羽生北小)

栃木県合唱連盟賞

阿部 光陽(佐野・天明小)

部活動功労賞

合唱部
阿部 光陽
澤井 音羽
藤倉 栞

和太鼓部

矢内 希和
石川 莉子
書道同好会
奥澤穂乃香

部活動努力賞

男子バスケットボール部
岩崎 凌(野木・友沼小)
斧澤 直輝(栃木・岩舟小)
軟式野球部
長沼 健世(八千代・中結城小)
剣道部
原口万莉娃(館林・第一小)
管弦楽部
石原 妃菜
林 咲結理(下野・祇園小)
英語研究部(SELC)
坂口 真央

数学研究同好会

高橋 李羽
小島 大輝(開智小)
華道同好会
張 希航
茂木 花穂

感謝状

生徒会
亀田 紫乃
須藤 達紀
林 咲結理
石川 莉子

学校後援会表彰

書道同好会
奥澤穂乃香

浦田教育基金 学園創立60周年記念事業募金

本学園では、浦田教育基金並びに、学園創立60周年記念事業募金のご協力をお願いしております。皆様からお寄せいただきましたご厚意は、生徒学生の奨学金及び、本学園の教育・施設設備等に活用させていただきます。今後とも、本学園へのより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

～ご寄付賜りました法人様・団体様～

寿ホールディングス株式会社、株式会社JTB宇都宮支店、関東旅行株式会社、やじま印刷株式会社、TOPEMOTION株式会社、青木設備工業株式会社、株式会社トラストリンク、篠崎木工株式会社、有限会社オクサワ商会、株式会社カネマス、株式会社川田サッシ工業、株式会社虎昭産業、株式会社グンエイ、さくら総合サービス株式会社、株式会社ハクエイエンタープライズ、株式会社永楽屋、株式会社永沢緑花苑、株式会社カネス、株式会社秋栄堂、有限会社ヨコタスポーツ、有限会社ヒカリ事務機、関東自動車株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社宇都宮支店、株式会社娘屋、佐野瓦斯株式会社、株式会社SN桜.com
(令和6年2月～令和6年12月)

なお、個人の皆様からも多数のご寄付をお預かりいただきましたが、ご芳名の掲載は控させていただきます。

学年研修

10月31日(木)～11月2日(土)

国内研修旅行(奈良・京都)

東大寺や北野天満宮などを見学し、班別自主研修を行った。



3年

秋から冬へ学年での研修旅行が実施された。学校とは異なる環境で友達と協力し、朝から晩まで一緒に過ごすことで、互いの絆をさらに深め、思い出に残る研修旅行となった。

3年



班別自主研修では、それぞれの興味・関心に応じた計画を立て、交通手段などにも留意し、時間を厳守した行動ができた。

11月28日(木)～30日(土)

ブリティッシュヒルズ(福島)

ネイティブスピーカーとの活発なやりとりが主体の英語授業によって、楽しみながら語学力を磨くことができた。



4年



7月13日(土)～9月30日(月)

ターム留学(ニュージーランド)

現地でホームステイをし、現地校での授業を受け、現地ならではの体験をした。旅行で訪れるのとは異なり、現地での生活を通して大きく成長した。



12月21日(土)

マレーシアFW成果発表会

6月に実施したマレーシアフィールドワーク参加生徒が、班別に設定した研究テーマについて発表を行った。姉妹校の先生からのサプライズメッセージも届き、活気あふれる会となった。

海外研修ほか

今年度もさまざまな形で海外研修が行われた。現地の方々との触れ合いや、体験を通して、新たな気づきや視点を得られ、自分の成長を実感した研修となった。これらの海外研修の他にも、本校に海外からの生徒を受け入れるなどの活動も行った。

A班 10月18日(金)～25日(金)

B班 10月20日(日)～27日(日)

海外研修旅行(イギリス)

シェイクスピアも学んだ名門キングエドワードVI世校での授業やロイヤルシェイクスピア劇場での観劇、班別自主研修などを行った。



現地でのホームステイなどを通して、日本とイギリスとの文化や風習の違いを目の当たりにし、視野を広げることができた。これまでの体験授業の集大成となる実りある研修であった。

英語検定準1級合格!!

3年生の赤堀伊織さん(フェリーチェ玉村国際小)が第1回実用英語技能検定において、大学入学程度とされる準1級合格の快挙を遂げた。後輩の皆さんも続いてほしい。



創立60周年記念式典 挙行

10月10日(木)、60周年記念行事として、スポーツジャーナリストの増田明美氏をお迎えし、「自分という人生の長距離ランナー」という演題で講演会が開催された。生き生きとした言葉が生徒たちの胸に響く講演会となった。

10月19日(土)、創立60周年記念式典がプラザ40にて盛大に挙行された。多くの来賓の皆様をお迎えし、厳かな式典となった。



続く10月21日(月)には、姉妹校・ガールズグラマースクール校長による記念講演会が開催された。英語による講演を拝聴した。



11月27日(水)には、モルドバ共和国ドゥミトル・ソコラン特命全権大使による講演会が行われた。



『Moldova: closer than you think!』という演題で、モルドバのさまざまなことを紹介していただき、有意義な機会となった。

12月19日(木)には、防衛省陸上自衛隊第12旅団音楽隊によるコンサートも行われた。美しいハーモニーやはつらつとしたリズムの演奏など、音楽を楽しむ機会となった。

中等運動会

9月28日(土)、スタジアム30で中等運動会が開催された。クラス別の大縄跳びや6年生のリクエスト競技などが実施され、生徒は多くの種目に参加することができた。楽しそうな笑顔があちこちでこぼれる行事となった。



予餞会—卒業生を送る

12月18日(水)の3・4時間目、予餞会が中等体育館で開催された。劇やドラマ、合奏や合唱など、在校生や教職員が準備した心のこもった出し物が次々に行われ、楽しい会となり、送られる6年生は感激していた。



立志式

2月5日(水)、2年生の立志式が行われた。古来の元服が14歳で行われていたことを由来とし、将来に思いを馳せ、志を新たにする行事である。代表として飯田美桜さん(佐野・城北小)が誓いの言葉を堂々と述べた。セカンドステージでの成長に期待したい。



輝く仲間たち

書道 横田樹音さん 東京都美術館に作品展示

第40回全国書き初め展覧会において、2年生の横田樹音さん（館林・第一小）が毛筆の部で全日本中学校長協会会長賞を受賞した。横田さんの作品は3月24日（月）～31日（月）の日程で東京都美術館に展示される。



第49回「小さな親切」 作文コンクール 優秀賞

3年生の清水聖乃さん（佐野・あそ野学園義務教育学校）の作品が全国大会で優秀賞に輝いた。清水さんは、電車の中で遭遇した出来事から「親切を実行するのに言語の壁は存在しない」と訴えている。身構えずに親切の輪を広げてほしい。

日本大学付属学校等 第41回文芸コンクール 入賞

5年生の神山美優さん（佐野・犬伏東小）が詩の部で入選を果たし、2年連続の入賞となった。また、同じく5年生の岡田菜音さん（足利・三重小）が小説の部で、富田穂香さん（羽生・羽生南小）が俳句の部でそれぞれ佳作となった。生徒のみなさんにはこの機会を文学に親しむ一助としてほしい。

令和6年度 心の輪を広げる障害者理解促進事業 「障害者週間」のポスター 佳作

2年生の柿木萌衣さん（太田・北の杜学園小）の作品が全国審査で佳作に輝いた。柿木さんの作品は、障害の有無に関わらず将来を思う若者を色彩豊かに表現したもの。今後の活躍が期待される。

令和6年度税に関する作品

- 作文の部 佐野税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞
林 愛理咲（3年・下野・祇園小）
神山 実穂（3年・栃木・栃木中央小）
- 標語の部 佐野市農業青色申告会長賞
赤坂 優光（2年・佐野・出流原小）
- ポスターの部 栃木県安足県税事務所長賞
樋下田莉帆（1年・佐野・犬伏小）
- 佐野間税会長賞
水野 陽花（2年・小山・小山第小）

中学生人権作文コンテスト栃木県大会

- 優良賞 大橋 ひよ（3年・古河・諸川小）
堀田 紗礼（3年・古河・古河第二小）

栃木県心の輪を広げる障害者理解促進事業「障害者週間のポスター」

- 最優秀賞 柿木 萌衣
佳作 山本 楓（1年・佐野・犬伏小）

JA 共済県下小・中学生第52回交通安全ポスターコンクール

- 銅賞 永島晃太郎（2年・佐野・天明小）

JA 共済県下小・中学生第67回書道コンクール

- 半紙の部 佳作 横田 樹音

第31回栃木県ヴォーカルアンサンブルコンテスト

- 銀賞 合唱部

第50回「小さな親切」作文・標語コンクール

- 作文の部 優良賞 岩崎 雪衣（1年・足利・東山小）
高山 菜月（1年・小山・乙女小）
清水 聖乃
宮城 碧（3年・栃木・千塚小）

第57回下野教育書道展

- 金賞 神山 実穂
銀賞 黒須 渚奈（1年・羽生・羽生南小）
水野 陽花
寺田 梢（2年・下野・南河内小中）
横田 樹音
銅賞 田口 瑠莉（2年・佐野・植野小）
井上 晏奈（3年・佐野・界小）

第60回全日本書初め大展覧会

- 席書の部
日本武道館賞 横田 樹音
- 公募の部
日本武道館賞 横田 樹音
特選 奥澤穂乃香（6年・羽生・羽生北小）

第92回全国書画展覧会

- 筆都大賞 神山 実穂
金賞 井上 晏奈

編集 後記

思いもかけない出来事が日常を一変させるのだと皆さんはよくわかっているだろう。人生を大きく変えるそれらは、何気ないさりげなさで私たちに訪れる。今、皆さんが「当たり前」に享受しているものも、失った後に大きな喪失感を覚えることがあるかもしれない。「努力の大きさが喜びの大きくなる」という。今日、巣立ちの日を迎える皆さんが、その未来で大きな喜びをつかめることを祈っています。ご卒業おめでとうございました。（長谷川 記）

広報わかざくら VOL.68

佐野日本大学中等教育学校 栃木県佐野市石塚町2555
☎0283-25-0111(代) <https://ss.sano-nichidai.jp/>